

平成 31 年度 看護部感染対策委員会目標

平成 31 年 2 月作成

1. 患者及び医療従事者を院内感染から守る
2. 感染拡大防止
3. 感染対策の理解と意識の向上に努める
4. 感染対策の実践を調査・評価し安心・安全な看護を提供する

1. 標準予防策（手洗い・速乾式擦式消毒剤）を習得する事が出来る
 - 1) 速乾式擦式消毒剤の個人使用量を可視化する
 - 2) 速乾式擦式消毒剤の各部署の使用量を毎月調査する（月末締めて次の月の 15 日までに委員長に提出）
 - 3) 3 ヶ月毎に速乾式擦式消毒剤の使用状況の調査を行う（月述べ患者数に対して・月述べ看護師数に対して）
 - 4) 各看護業務の速乾式擦式消毒剤のタイミングと適正使用回数を検討する
 - 5) 全職員（看護部、副診療部）に手洗いチェッカーを使用してもらう
 - 6) 手洗いチェッカーを使用することで自分の手洗いを見直すことができる
 - 7) 手洗いチェッカー使用前、後のアンケートを行い集計する
 - 8) 新人・中途採用者のスタッフへ手洗いの方法を指導する事が出来る
 - 9) 新人・中途採用者のスタッフへ速乾式擦式消毒剤の使用方法を指導する事が出来る
2. サーベイランスの取り組みを通し、感染対策の問題点を抽出・業務改善が出来る
 - 1) 血液感染サーベイランス（末梢カテーテル・CV）を行う
 - (1) 月 1 回モニターする事が出来る（月末締め）
 - (2) 自部署で評価する事が出来る
 - (3) 次の月の 15 日までに委員長に結果を提出する
 - 2) 尿路感染サーベイランス（膀胱留置カテーテル）を行う
 - (1) 月 1 回モニターする事が出来る（月末締め）
 - (2) 自部署で評価する事が出来る
 - (3) 次の月の 15 日までに委員長に結果を提出する
 - (4) 各部署の報告を基に委員会で問題点を抽出する
 - (5) 問題点を検討し業務改善が出来る
3. 安全ラウンドを行い感染対策の実態調査・改善が出来る
 - 1) 毎月、部署のチェックシートの記入が出来る（安全ラウンド第 4 木曜日）
 - 2) 部署で記入したチェックシートを提出する
 - 3) 次の月の 15 日までに看護部長、委員長に提出する
4. 感染委員会で使用している用紙の内容を見直す
 - 1) 血液感染サーベイランス観察シート
 - 2) 尿路感染サーベイランス（膀胱留置カテーテル）
 - 3) 安全ラウンドチェックシート
4. ノロウイルス感染者の臥床時の吐物処理方法の手順書を作成する
 - 1) ノロウイルス感染者の臥床時の吐物処理方法の手順書の原案を委員長が作成する
 - 2) ノロウイルス感染者の臥床時の吐物処理方法の手順書を委員会内で検討する
5. 医療従事者として自分自身を守ることが出来る
 - 1) 各個人が HB ワクチン接種を行う事が出来るために部署長会や委員会で声かけを行う
 - 2) 各部署で看護職員の HB s ウイルス抗体の獲得を把握する
6. 全職員に対する感染対策研修会の企画、運営を実施する
 - 1) 平成 30 年 12 月予定